



## マンスリーレポート report

### report

■2006年10月のマンスリーNEWS

#### ■コラム

#### ■さあ!いよいよ秋商戦突入です。□

まずはホットへの切り替え対応についてですが、10月20日時点で当社はほぼ100%の自販機がホットへ切り替わる予定になっています。(まだ終わってない自販機がありましたら連絡くださいね。)

他社オペレーターはホットへに切り替えを始めたばかりというところが多いように見受けられます。これも私達が出来るのはしっかり自販機切り替え計画を立て、8月20日から準備を進めてきたからなのです。

これから11月にかけては、秋の自販機清掃キャンペーンとなります。今回の清掃は自販機のサイドをきれいにしていくという項目が入りました。自販機の正面をきれいにしていくのは、当たり前ですがサイドが汚い自販機が結構あります。その辺りを今回は重点的にやっと思っています。

もちろん、いつものピカピカ清掃シール(秋バージョン)を貼っていきますのでよろしくお願いします。



#### ■コラム

#### ■自販機トレンドを探る!自販機プラスアルファ□

缶飲料などの販売だけでなく多彩な機能が付いた自動販売機が街角に登場している。

大地震の直後、商品を無料提供したり、代金の一部を募金できるなどその機能は様々だが、「周辺の店舗の売り上げも上がった」などと評判も上々だ。

自販機の設置台数そのものは横ばいが続いており、いかに利用者をつなぎとめるか業界の思惑もにじむ。

スポーツクラブや大型スーパーなどが入る商業施設「トピレックプラザ」(東京・江東)の敷地の一角には、自販機本体や囲いを黄色やオレンジ色に染めた自販機コーナーがある。四台ある自販機すべては、大地震が起きた時などに飲料を無償で提供する。「目立つ色にして、お客様に普段から意識してもら

えるようにした」（同施設担当者）災害対応型自販機は、大地震などが起きた場合、遠隔操作や鍵で無償と有償を切り替える。標準的なタイプで350ミリリットル缶を415本提供できる。全国で少なくとも2000台以上が稼働中だ。

全国清涼飲料工業会によると、「新潟県中越地震で避難先となった長岡市の体育館で活躍、自治体などでの導入が増えた」という。

国土緑化推進機構（東京・千代田）は森林整備に充てる「緑の募金」が可能な自販機を2100台設置している。消費者が支払う飲料代の2%程度、およそ2~5円が寄付に回る。昨年1年間で約2100万円の寄付があった。「森林整備について知ってもらえるという、募金以外の効果も大きい」（杉山勝募金部長）パソコンをインターネットに接続できる無線LAN（構内情報通信網）の基地局機能が付いた自販機も約50台が東海地方で活躍中だ。運営する自販機管理のタケショウ（愛知県半田市）は「サラリーマンの利用が多く、周辺飲食店の売り上げが上がる効果も出ている」と胸を張る。

同工業会のまとめでは清涼飲料の自販機は全国に約220万台で、ここ数年台数は変わらないという。日本コカ・コーラの高杉洪太シニアマネジャーは『存在』を知ってもらわなければ成り立たない地域密着型の商売ゆえにユニークなアイデアは不可欠と強調。今後も斬新なアイデアの自販機が誕生しそうだ。

9/16日本経済新聞 夕刊より

自販機が飽和状態の中、飲料を売るだけの箱から少しでも社会貢献できる箱へ変化しつつある自販機。

今後も進化していくと思われます。

そう考えると自販機の存在価値はまだまだ高まっていくと考えられます。

しかし、忘れてならないのは自販機の本来である機能、飲料を売るということ。

つまり、私達自販機オペレーターは

**売り切れをなくし、清潔な自販機を作り、きちっとしたごみ管理（環境整備）が基本**

であることの上にそのような付加価値があることを忘れてはならないと考えています。

## ■コラム

### ■10円饅頭の店発見!!

確か、4月頃だったと思います。「**とんねるずの食わず嫌い王決定戦**」という番組でタレントが番組の冒頭に美味しいお土産を持ってくる場面があります。

上戸彩がゲストが出ていました。

そこで、彼女がお土産に持ってきたのが1個10円の黒糖饅頭でした。元来饅頭好きの私は”美味しそう〜！1回食べてみたいな”と何気に思っていたのをよく記憶していました。ただそのためにわざわざ、その店を探して行ってみようという気など起こるわけがないので”**10円饅頭**ねえ〜”で終わっていました。

実はその**10円饅頭**の店を本当に偶然、巣鴨で発見してしまったのです。（結構感動！！）

場所も非常に奥まった所で”こんなところに”っていう場所です。



巣鴨地蔵通り商店街



巣鴨とげぬき地蔵



こんな感じです！饅頭うまそう！

### 右上写真

もちろん、その場でお買い上げ。  
30個入り（2段になっています）  
340円になります。（箱代で40円かかるそうです。）

皮はしっとりしていてモチモチ感があり、中身のアンはこしあんであまり甘くないので、どんどん食べれます。インターネットで調べるとその店のHPがありました。

<http://www.10yen-manju.com/>

どうやらFC展開をし始めたばかりのようで今後増えていくの  
かもしれません。もし興味がある方がおられたら行ってみたら？

ところで、「何で巣鴨なんか行ったの？」って。  
それは「[八目うなぎのにしむら](#)」にうなぎを食べにいったのと  
「[みずの塩大福](#)」を買いに行ったのでした。

何か先月号から食べ物のレポートが多くなってきているな～。

## ■コラム

### ■ハンカチを用意して読んでください。「鏡の法則」



久々の本の紹介をします。

人生のどんな問題も解決する知恵「**鏡の法則**」野口嘉則著  
です。

内容のさわりだけ少し紹介します。

A子（主婦、41歳）には悩みがあった。小学校5年生になる息子が、学校でいじめられるのだ。いじめられるといっても、暴力まではふるわれならしい。友達から仲間はずれにされたり、何かあると悪者扱いされたりすることが多いようだ。

息子は、「いじめられてるわけじゃない」と言い張っているが、息子を見ていると、寂しそうなので、A子は胸が痛むのだ。息子は野球が好きなのだが、友達から野球に誘ってもらえないので、学校から帰ってきたら一人で公園に行き、壁とキャッチボールをしている。2年くらい前には、息子が友達とい

っしょに野球をしていた時期もある。

当時のことなのだが、A子が買い物の帰りに小学校の横を通りかかったときに、グラウンドで息子が友達と野球をしていた。息子がエラーをしたらしく、周りからひどく責められていた。チームメイト達は、容赦なく大きな声で息子を責めた。

「お前、運動神経がにぶ過ぎだぞ!」「お前のせいで3点も取られたじゃないか!」「負けたらお前のせいだぞ!」

A子は思った。「たしかに息子の運動能力は高くない。しかし、息子には息子のいいところがある。とても心が優しい子なのに。」A子は、自分の息子のいいところが認められていないことが、悔しかった。そして、ひどいことを言うチームメイト達に対して、自分の息子が笑顔で謝っているのを見るのが辛かった。その後まもなく、息子は野球に誘われなくなった。「お前はチームの足を引っばるから誘わん」と言われたらしい。息子にとって、野球に誘ってもらえないことが、一番つらいようだ。A子へのやつ当たりが目立って増えたことから、それがわかる。

しかし息子は、辛さや寂しさを決して話してはくれなかった。A子にとって一番辛いのは、息子が心を開いてくれないことだった。「僕は平気だ」と言い張るばかりなのだ。A子が、「友達との上手な関わり方」を教えようと試みても、「うるさいな!ほっといてよ」と言ってくる。「転校しようか?」と持ちかけた時は、「そんなことをしたら、一生うらむよ!」と言い返してきた。

息子の状況に対して、自分が何もしてやれないことが情けなく、A子は無力感に陥っていた。そしてある日、学校から帰宅して公園に行ったばかりの息子が、不機嫌な顔で帰ってきた。「何があったの?」と聞いても、「何もない」と言って教えてくれない。真相は一本の電話で明らかになった。

その夜、親しくしているご近所の奥さんから電話がかかってきたのだ。「A子さん、○○○君(A子の息子の名前)から、何か聞いている?」「えっ?いいえ」「今日、公園でうちの下の子どもをブランコに乗せていたのよ。○○○君は、いつもの壁にボールを投げて遊び始めたわ。するとね、○○○君のクラスメイトらしい子たちが7、8人くらいやって来てね、『ドッジボールするからじゃまだ!』って○○○君に言うのよ。しかも、その中の1人がボールを○○○君にぶつけたのよ。○○○君、すぐに帰っていったわ。私としては、その場で何もできなくて、申し訳なかったと思ってね。」

A子は愕然とした。「そんなことを私に黙っていたなんて。」そんなつらい思いをしながら、自分に何も言ってくれないことが悲しかった。その日は、あらためて息子から聞き出そうという気力も湧いてこなかった。翌日、A子はある人に電話をかけることを決意した。

このようにストーリーは始まっていきます。この後は実際に読んでのお楽しみにしてください。きっと何か得るものがあると思います。

鏡を見ると自分の顔が映ります。それと同じように自分の心の有様が人生に映しだされるとこの本は言っています。自分自身たくさんのことを考えさせられました。

ちなみに、当社のH所長の感想はブログにのっています。

販売促進課のペケペケ1号改めオヨヨ君は泣きながら読んだそうです。

■コラム

## ■衝撃的場面に遭遇!!

さる9/10(日)午前8:30ごろの出来事です。

私は友人2名を車に乗せ伊豆スカイラインを走っていました。冷川ICの手前27.6kmポスのカーブにさしかかったところで……。グチャグチャになった2台のバイクとその場所に倒れている2名の男性を発見したのです。

まわりには我々3人以外誰もいません。私達はすかさず、車を飛び降り彼らのところへ駆け寄りました。2人共意識はない様子で、片方の人は血だらけで仰向け状態、もう片方の人は血は出ていませんでしたがピクリとも動きません。すぐ119で救急車を呼びましたが、どうにもかなりの山奥だしなかなか救急

車が来ません。

私達は「聞こえる？大丈夫？」と大声で倒れている人に話しかけにいきます。すると、血を流している人がわずかに少し動くのを確認し”この人まだ生きてる！”と思い再度119番通報。「救急車早く！！何やってるの！？早く来ないと死んじゃう！！」と叫んでいる自分がいます。

その後、血を流していないほうの人は意識が少し回復してきたのです。”よかった。この人はなんとか大丈夫かもしれない。”横で「動かないで。そのままです！」と私の友人が叫んでいます。その時点で血だらけの人はピクリとも動かなくなっています。気道に血が詰まって息はしていない様子だし、心臓も動いていない様子で、もしかしたらもうダメかもしれないという思いがよぎります。せめて横を向かせて気道を確保させてあげたいと思いましたが、「動かしたらダメ！」と対向車線からきたおばちゃんが声をかけてきます。”そうだよな”と思いそのままにします。

結局、救急車が来るまでに約15分かかり、血だらけの人は息を引き取った様子です。彼らを道路脇に運ぶ手伝いをし、あとは救急隊員の緊急処置をしているのを呆然と眺めるだけでした。その後10分してドクターらしき女性が2台目の救急車で来て、口からチューブで血を抜いたり、心臓に電気ショックを与えたりして蘇生を図っていましたが、やはり心臓が動かなかったようです。もう1人の人は全身かなりの骨折状態のようでしたが、命には別状はないようでした。

この出来事は私にとって、とてもショッキングなことでした。なぜなら、事故で目の前の人が息を引き取るというのを見るということは始めてだったからです。よく、考えてみると死というものに接する機会って最近あまりありません。昔は戦争や病死などで死に接する機会が多かったのですが・・・。

しかし、死ほど人間一人ひとりに確実に訪れてくるものはないはずで、そう考えると自分が”死”と隣り合わせで生きていることを普段忘れていたということをしみじみ考えさせられました。

#### ■コラム

### ■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

ただいまブログは5名が更新中です。

- ・所長のブログ（小田原H所長）
- ・チーフの給湯室（小田原Mチーフ）
- ・情報最前線（海老名K所長）
- ・促進課目玉オヤヂ（販売促進課Hさん）
- ・促進課オヨヨ（販売促進課Mさん）

こちらからどうぞ→<http://www.arclu.com>

ということで、普段ネットでブログを見ていない方の為に、小田原H所長の9月25日のブログを紹介します。

H所長の ブログはなんとほぼ毎日更新されます。



秦野たばこ祭りのテキ屋さん通りに、うちの自販機が1台あり大変売れていました。

設置店はスポーツショップ21さんです。

設置してから2回目ですが前回はその存在を知らずに大変なご迷惑をかけてしまい、全品売り切れでビックリ！今年では対策を練り、土曜日の夜に詰めに行く事にしました。日中は自販機周辺がテキ屋さんの出店と人の導線ですととてもじゃありませんが開ける事は出来ません。

それくらい凄い・・・担当の赤○君はインセンティブツアー(\*)で山梨へ・・・という事は私が行く事になり、・・・その日は出勤者も4名と少なくとも寂しい日でした。「ねえ、お願いがあるんだけど藤○君・太○君あの今日の夜なんだけど一緒に遊ばない」「イヤイヤ土曜日の夜ですよ・・・デー○があります」「お願い一緒に秦野のタバコ祭り行こう、自販機にジュース詰めに・・・」「え！！」（リアクション大きい）「夕飯ご馳走するからさ・・・」そして夜の8時30分アークル 出発。お祭りは9時で終り・・・おい・おい・おいなんだよこの人だから早く解散してくれよ・・・車どこの止めれば・・・しようがない開き直って信号機のそばですが止めさせて頂ました。

自販機あら・あら・あら・・・故障か・・・開けてビックリ！見事に全部売れていました。フー夜出来上がった方ばかり（お酒を飲んで）・・・中、高生のヤ○キーだらけ、拍車をかけてヤ○ザ風の方大勢・・・仕事しづらい、自販機からどいてよ・・・集合！ミーティングやるよ3名で。「いいか、絶対にジュースの箱を人や車(見るからにテキ屋さんのトラックetc・・・)ぶつけるなと言うより触れるな！」「最新の注意でトラックから自販機まで運搬しろよ」「どいてもらう時は大きい声で失礼しますと気合入れて言えよ」「お金は直に回収しろよ危ないからな、以上」そんなこんなで無事任務終了です。

ありがとうね本当にここだけの話しこの任務1人でやっていたら私帰れなかったし、凹みまくりでしたよ。夕飯は夜○時、ビー○宴で食べたい放題してきました。勿論、お酒はなしですよ・・・あしからず・・・

あしたま 🍷 🍷

\*インセンティブツアーとは：アークル独自の成績優秀者のみが行ける旅行

■ アークル新ユニフォーム秋バージョン！！ ■

爽やかな感じにしてみました。



秋に向けてユニホームが変わったので宜しくお願いします。

これからはこれで伺います。何処の人かと思って怪しまないで下さいね！

(写真はアークル小田原営業所のREG担当者達)

#### ■本年度のマンスリーNEWS

➔	2006.09	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>
➔	2006.08	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>
➔	2006.07	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>
➔	2006.06	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>
➔	2006.05	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>
➔	2006.04	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>
➔	2006.03	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>
➔	2006.02	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>
➔	2006.01	<a href="#">アークル マンスリーNEWS</a>

#### ■マンスリーNEWS アーカイブ

➔	最新	<a href="#">マンスリーNEWS トップページ</a>
➔	2005年度	<a href="#">2005年のマンスリーNEWS アーカイブ</a>
➔	2004年度	<a href="#">2004年のマンスリーNEWS アーカイブ</a>